



千地申
20号

「浅草橋駅・都賀駅の業務委託」に関する団体交渉を行う！

地本は、「グループ会社と一体となった受委託業務の効率性・生産性の向上」として浅草橋駅・都賀駅を業務委託する提案を受けました。

この間、駅の業務委託は「エルダー社員の雇用の場の確保」を前提とする一方、そこで働く組合員の労働条件の維持向上や、職場環境を整えるために労使議論の上で進めてきました。地本は、施策の目的との整合性を検証し、組合員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる職場を創るために団体交渉を行いました。交渉での議論内容は以下の通りです。

■今施策の目的と、浅草橋駅・都賀駅を業務委託する根拠

- ・今後、営業職場では400名の社員が退職しエルダーとなっていく。その方々の雇用の場を確保しなくてはならない。
- ・これまで千葉以東の駅を中心に業務委託をしてきたが、千葉以西在住の社員より、「自宅に近い箇所働きたい」という声があるため、その声に応えていく。
- ・今回委託する浅草橋駅・都賀駅は、昨年千地申16号交渉で本体運営駅であると議論してきた駅（地区駅、常時運転取扱いのある駅、輸送安定・観光流動・業務波動を加味した駅）には該当しない。
- ・浅草橋駅は乗降客数10万人を超えるが、業務波動のある駅ではないと判断したため選定した。
- ・これまで、駅遠隔操作システム稼働中に被制御駅社員の起床を要請する際、これまではJESS千葉支店当直を介していたが、浅草橋駅では今回業務委託することで、直接連絡することができるようになる。

■社員への教育について

- ・出向者は業務委託実施までに、JESSによる会社説明会の中で、JR本体との取扱い内容の違いなどを教育する。
- ・プロパー社員は施策実施前に、必要に応じて職場で実習を行っていく。
- ・業務委託後、JESSではブロック制となる。ブロック内の他駅で助勤等が発生する際は、本人の不安がなくなるよう教育を行う。

■施策実施後の体制について

- ・施策実施後の要員体制はJESSにて決定するが、現行と同様の要員体制となるよう必要な調整を行っていく。
- ・駅務責任者の配置はJESSにて決定することとなる。
- ・施策実施後、みどりの窓口や券売機は現行通りとなる。
- ・都賀駅の「みどりの窓口閉鎖」の要望は職場の意見を受け止めるが、サービスを向上させた上で慎重に判断していく。
- ・作業ダイヤも基本的に変更はない。変更する場合は社員との合意形成に努めていく。

■職場環境改善について

- ・都賀駅の指令直通電話の移設は関係箇所と調整中。列車非常停止警報装置、自動放送入力装置、LED発車標入力装置が事務室側に設置されていることは問題と認識している。順序を勘案し改札への移設を検討していく（時期未定）。
- ・浅草橋駅の寝室については、職場から「旅客用トイレの音が大きい」という意見を聞いており、6月頃に音を小さくするための対策を行う。（旅客用トイレ個室が開扉された際の扉の衝撃音を小さくする）

■施策実施に伴う面談、異動について

- ・社員の異動については、任用の基準に則り取り扱っているところであり、社員の希望等については個人面談等で前広に把握していく。
- ・出向の目的はプロパー社員の教育である。
- ・組合員の出向は「労働条件に関する協約」に則り、原則として3年以内とする。

**施策実施後も検証を行い、
安全・健康・ゆとり・働きがいの担保された
働きやすい営業職場を創ろう！**